

2025年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明会

2024/11/19



旭ダイヤモンド工業株式会社

01

2025年3月期第2四半期（中間期）決算の概要

02

2025年3月期の見通し

03

中期経営計画の進捗

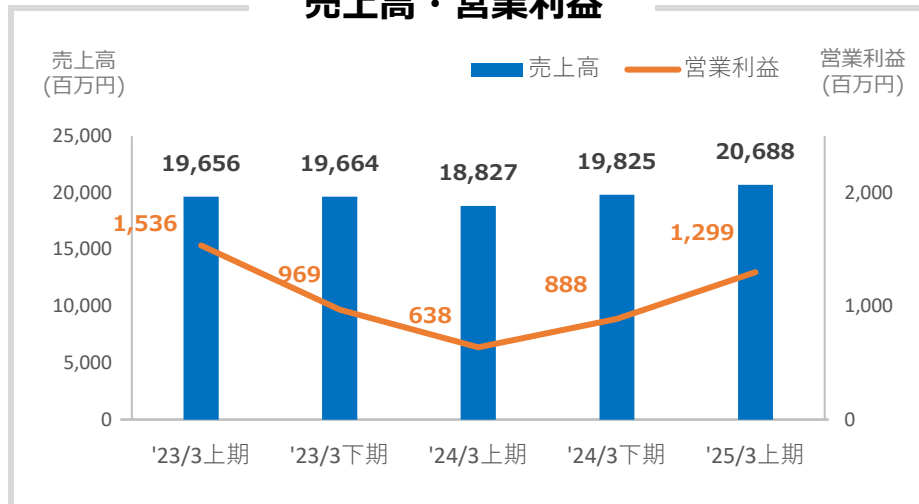
決算概要（連結）

前年同期に対して売上の増加及び、生産性の改善により営業利益は大幅に増加

単位：百万円

	'24年3月期		'25年3月期			
	上期実績 '23/4-9	百分比%	上期実績 '24/4-9	百分比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
売上高	18,827	100.0	20,688	100.0	1,860	9.9
営業利益	638	3.4	1,299	6.3	661	103.5
経常利益	1,215	6.5	1,628	7.9	412	34.0
親会社株主に 帰属する中間純利益	1,269	6.7	1,129	5.5	▲140	▲11.0
1株当たり中間純利益(円)	24.21	-	21.90	-	▲2.31	-

売上高・営業利益



営業利益(対前年同期増減)

増加要因

- 売上の増加 12億円
- 退職給付費用の減少 2億円

減少要因

- 人件費の増加 4億円
- 減価償却費の増加 1億円
- その他経費の増加 2億円

四半期別実績推移（連結）

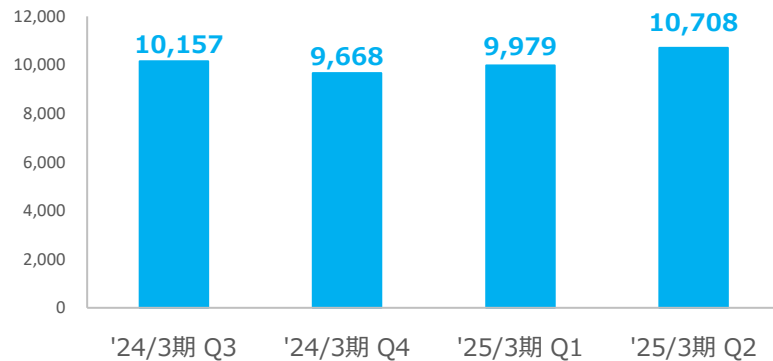
生産性の改善、製品価格の見直しにより、収益性の向上が継続

単位：百万円

	'24年3月期				'25年3月期			
	第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期	
	実績	百分比%	実績	百分比%	実績	百分比%	実績	百分比%
売上高	10,157	100.0	9,668	100.0	9,979	100.0	10,708	100.0
営業利益	425	4.2	463	4.8	547	5.5	752	7.0
経常利益	585	5.8	607	6.3	939	9.4	689	6.4
親会社株主に 帰属する中間純利益	422	4.2	417	4.3	802	8.0	326	3.1

売上高（四半期）

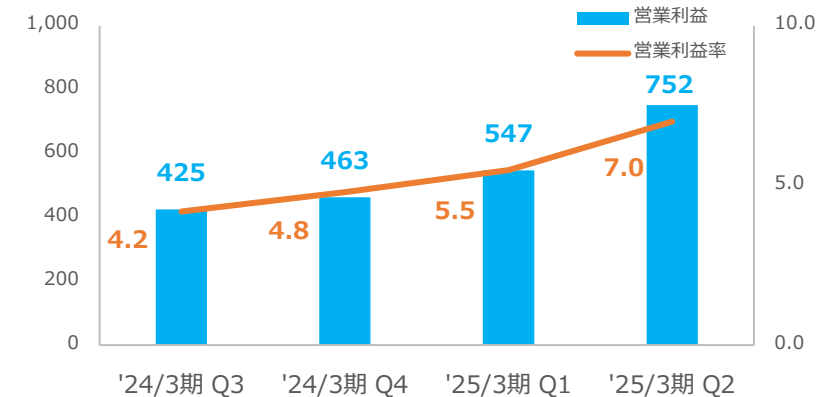
単位：百万円



営業利益（四半期）

単位：百万円

単位：%



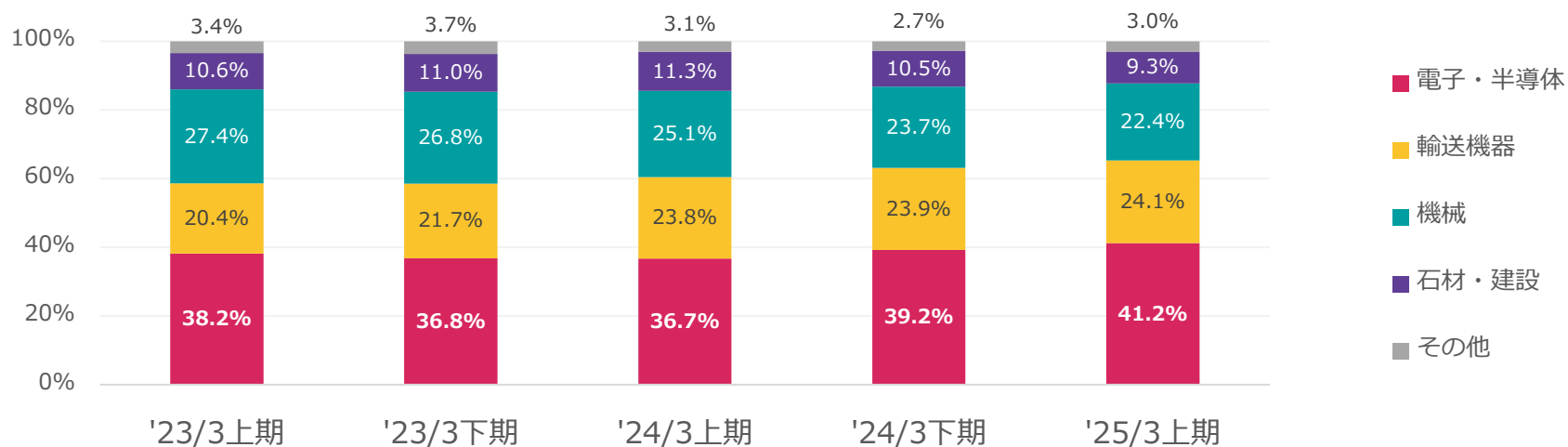
業界別売上高 及び 構成比（連結）

注力している電子・半導体業界の構成比が増加

単位：百万円

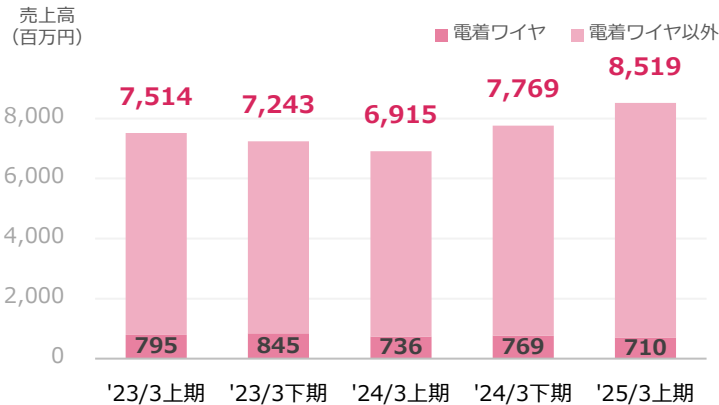
	'24年3月期				'25年3月期			
	上期実績 '23/4-9	構成比%	下期実績 '23/10-'24/3	構成比%	上期実績 '24/4-9	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
■ 電子・半導体	6,915	36.7	7,769	39.2	8,519	41.2	1,604	23.2
■ 輸送機器	4,469	23.8	4,734	23.9	4,975	24.1	506	11.3
■ 機械	4,733	25.1	4,701	23.7	4,631	22.4	▲101	▲2.2
■ 石材・建設	2,125	11.3	2,093	10.5	1,934	9.3	▲191	▲9.0
■ その他	584	3.1	527	2.7	627	3.0	43	7.4
合計	18,827	100.0	19,825	100.0	20,688	100.0	1,860	9.9

構成比

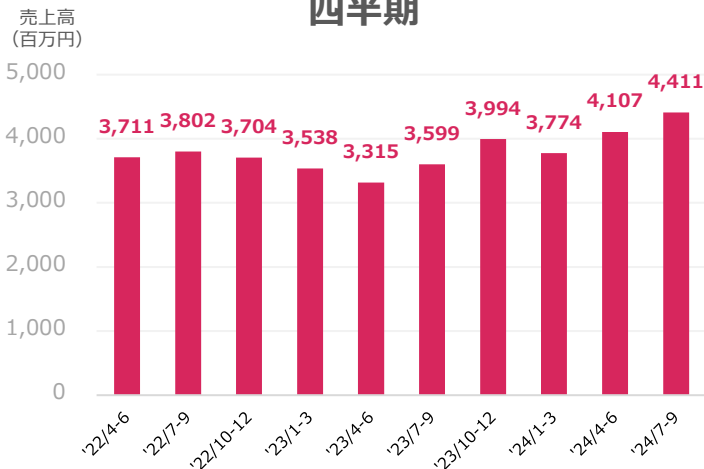


業界別売上高：①電子・半導体（電着ダイヤモンドワイヤ含む）

半期



四半期



半導体・電子部品

SiC半導体が減少したものの、メモリ用半導体の需要増により、販売が増加

FPD

前期からの回復基調で進捗し、販売が増加

伸線

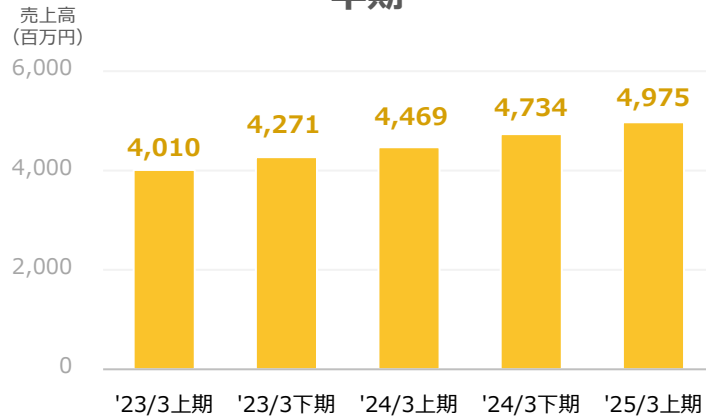
前期からの回復基調で進捗し、販売が増加

電着ダイヤモンドワイヤ

半導体向けは増加したものの、全体では減少

業界別売上高：②輸送機器

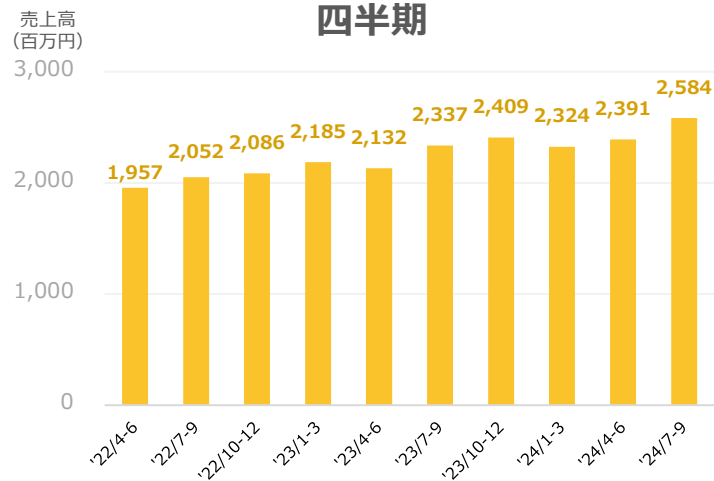
半期



自動車

商用車向けを中心に販売が増加

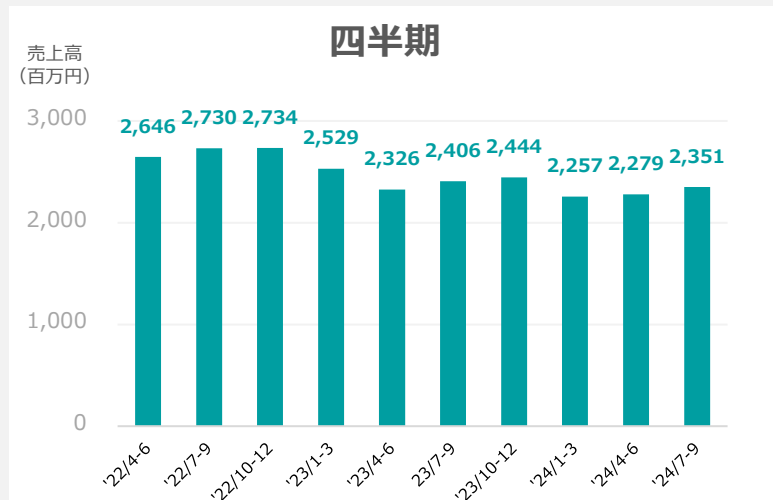
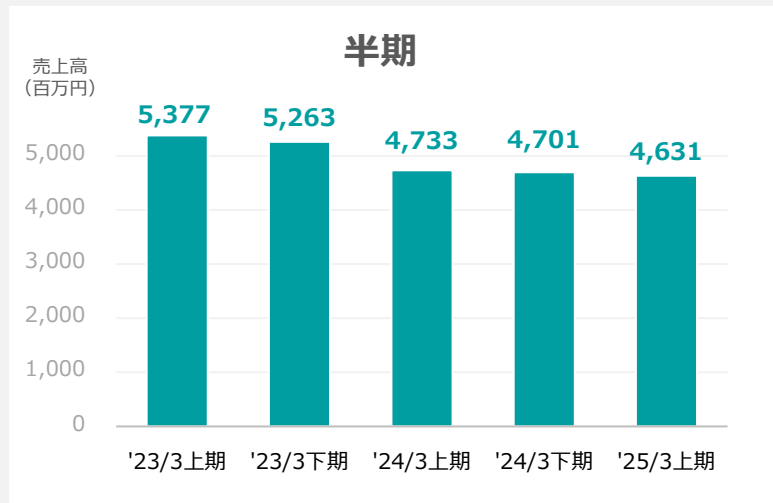
四半期



航空機

需要の回復により販売が増加

業界別売上高：③機械



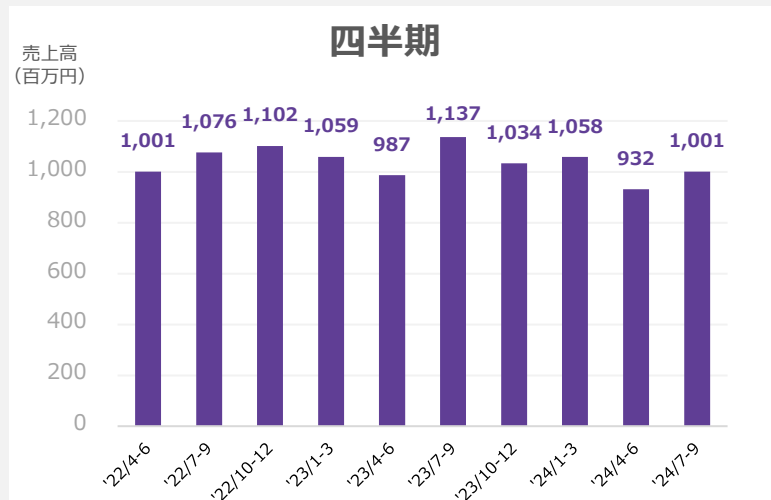
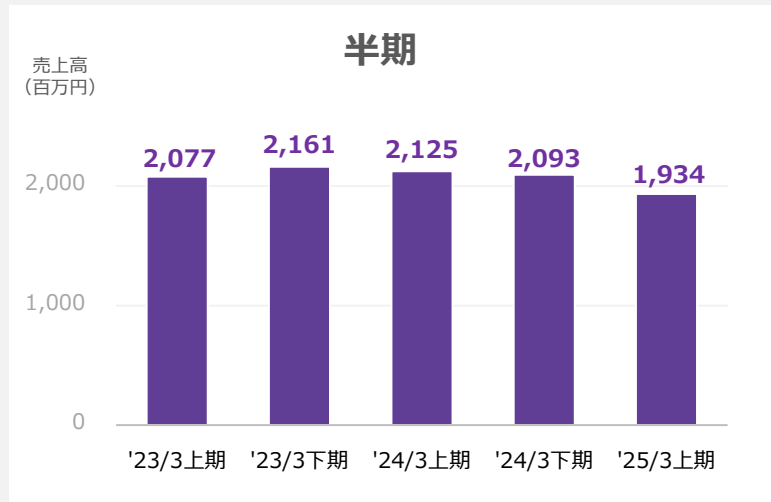
軸受・超硬工具

直近で回復基調ではあるものの、
前年同期比では販売が減少

工作機械

直近で回復基調ではあるものの、
前年同期比では販売が減少

業界別売上高：④石材・建設



資源探査

海外の受注が減少し、販売が減少

国内建設

直近で増加傾向ではあるものの、
前年同期比で販売が減少

流通商品(ポータブルカッタ)

直近で増加傾向ではあるものの、
前年同期比で販売が減少

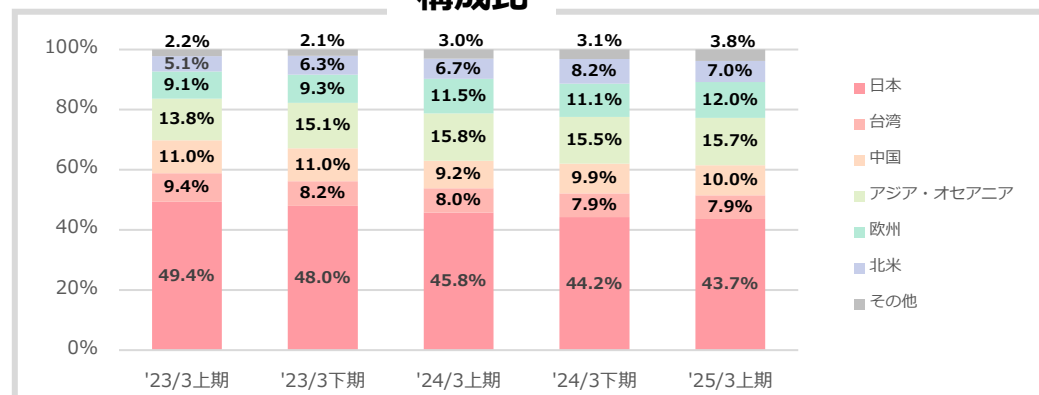
地域別売上高 及び 構成比（連結）

全ての地域で前年同期比増収 特に中南米、中国の伸びが大きい

単位：百万円

	'24年3月期				'25年3月期			
	上期実績 '23/4-9	構成比%	下期実績 '23/10-'24/3	構成比%	上期実績 '24/4-9	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
日本	8,615	45.8	8,771	44.2	9,037	43.7	421	4.9
台湾	1,513	8.0	1,567	7.9	1,627	7.9	114	7.5
中国	1,741	9.2	1,962	9.9	2,070	10.0	328	18.9
その他アジア・オセアニア	2,966	15.8	3,074	15.5	3,243	15.7	276	9.3
欧州	2,164	11.5	2,202	11.1	2,483	12.0	318	14.7
北米	1,254	6.7	1,630	8.2	1,449	7.0	194	15.5
その他	570	3.0	616	3.1	776	3.7	205	36.0
海外計	10,212	54.2	11,054	55.8	11,651	56.3	1,439	14.1
合計	18,827	100.0	19,825	100.0	20,688	100.0	1,860	9.9

構成比



日本

「電子・半導体」「輸送機器」の販売が増加

中国

「電子・半導体」の販売が増加

欧州、北米

「電子・半導体」「輸送機器」の販売が増加

その他アジア・オセアニア、その他

インド、中南米で「輸送機器」の販売が増加

連結貸借対照表

現金及び預金が長期借入金により増加、設備投資の増加により有形固定資産が増加

単位：百万円

資産の部	'24年3月末	'24年9月末	増減
現金及び預金	12,780	15,389	※1 2,609
受取手形及び売掛金	10,387	10,590	203
たな卸資産	8,185	8,415	229
有形固定資産	26,655	27,886	1,230
無形固定資産	351	321	▲29
投資有価証券	13,164	12,428	▲736
その他	2,376	2,531	155
資産合計	73,901	77,563	3,661

負債の部	'24年3月末	'24年9月末	増減
支払手形及び買掛金	1,424	1,924	500
未払法人税等	504	519	15
退職給付に係る負債	2,745	2,740	▲4
その他	5,235	7,416	※1 2,181
負債合計	9,908	12,600	2,692

純資産の部	'24年3月末	'24年9月末	増減
純資産合計	63,993	64,962	969
負債純資産合計	73,901	77,563	3,661

※1 長期借入金20億円

01

2025年3月期第2四半期（中間期）決算の概要

02

2025年3月期の見通し

03

中期経営計画の進捗

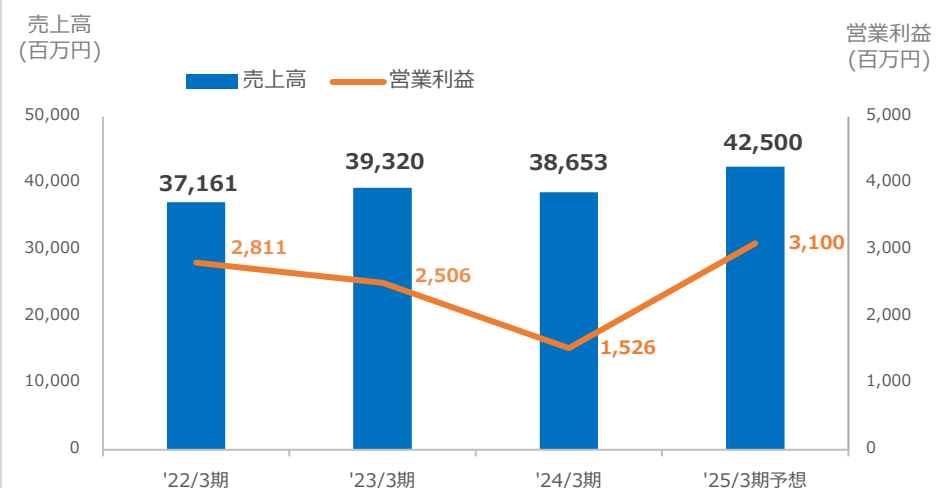
見通し概要（連結）

期初計画からの変更はなく、大幅な増収、増益を見込む

単位：百万円

	'24年3月期 通期実績	百分比%	'25年3月期 通期予想	百分比%	前年同期 増減率%	'25年3月期 上期実績	進捗率%
売上高	38,653	100.0	42,500	100.0	10.0	20,688	48.7
営業利益	1,526	4.0	3,100	7.3	103.0	1,299	41.9
経常利益	2,408	6.2	3,500	8.2	45.3	1,628	46.5
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,109	5.5	2,600	6.1	23.3	1,129	43.4

売上高・営業利益



営業利益(対前年同期増減)

増加要因

- 売上の増加 26億円
- 変動費率の減少 5億円
- 工場再編費用等の減少 3億円
- 退職給付費用の減少 2億円

減少要因

- 人件費の増加 11億円
- 減価償却費の増加 4億円
- その他（旅費交通費等） 5億円

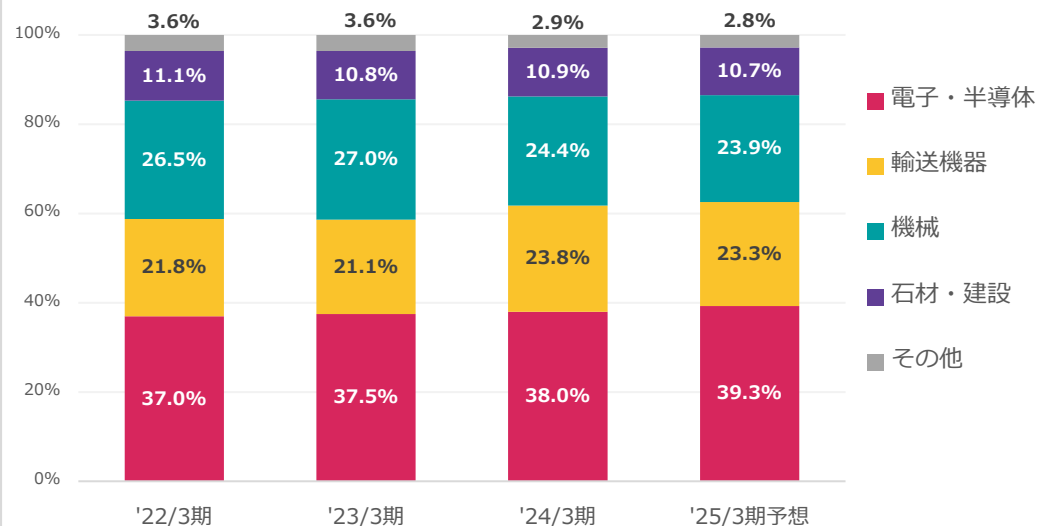
業界別売上高 及び 構成比見通し（連結）

期初計画からの変更はなく、電子・半導体を中心に全ての業界で増収を見込む

単位：百万円

	'24年3月期 通期実績	構成比%	'25年3月期 通期予想	構成比%	前年同期 増減率%	'25年3月期 上期実績	進捗率%
■ 電子・半導体	14,684	38.0	16,720	39.3	13.9	8,519	51.0
■ 輸送機器	9,204	23.8	9,880	23.3	7.3	4,975	50.4
■ 機械	9,434	24.4	10,170	23.9	7.8	4,631	45.5
■ 石材・建設	4,218	10.9	4,550	10.7	7.9	1,934	42.5
■ その他	1,111	2.9	1,180	2.8	6.1	627	53.1
合計	38,653	100.0	42,500	100.0	10.0	20,688	48.7

構成比



■ 電子・半導体

半導体向け工具の生産能力増強により
販売が増加の見込み

■ 輸送機器

自動車業種を中心に販売が増加の見込み

■ 機械

超硬工具・軸受業種を中心に
販売が増加の見込み

■ 石材・建設

建設業種を中心に販売が増加の見込み

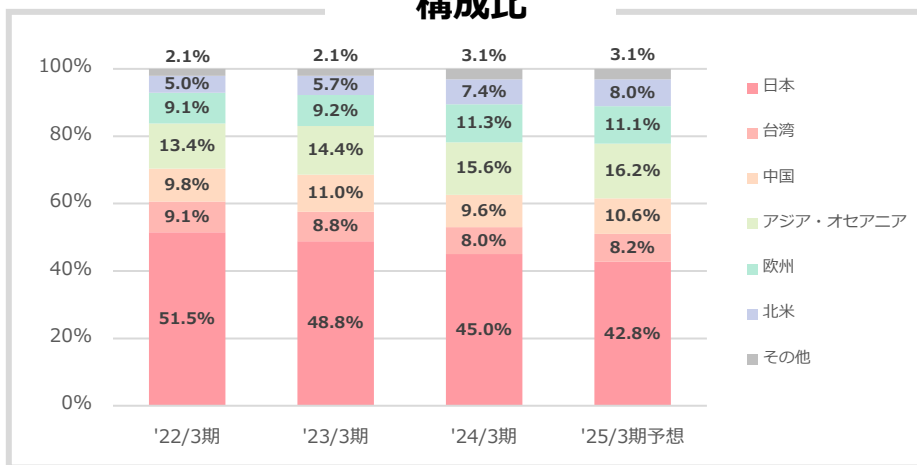
地域別売上高 及び 構成比見通し（連結）

期初計画からの変更はなく、全ての地域で増収を見込む

単位：百万円

	'24年3月期 通期実績	構成比%	'25年3月期 通期予想	構成比%	前年同期 増減率%	'25年3月期 上期実績	進捗率%
■ 日本	17,387	45.0	18,200	42.8	4.7	9,037	49.7
■ 台湾	3,080	8.0	3,500	8.2	13.6	1,627	46.5
■ 中国	3,704	9.6	4,500	10.6	21.5	2,070	46.0
■ その他アジア・オセアニア	6,041	15.6	6,900	16.2	14.2	3,243	47.0
■ 欧州	4,366	11.3	4,700	11.1	7.6	2,483	52.8
■ 北米	2,885	7.4	3,400	8.0	17.8	1,449	42.6
■ その他	1,187	3.1	1,300	3.1	9.5	776	59.7
海外計	21,266	55.0	24,300	57.2	14.3	11,651	47.9
合計	38,653	100.0	42,500	100.0	10.0	20,688	48.7

構成比



日本

電子・半導体業界向けを中心に販売が増加の見込み

中国

その他アジア・オセアニア

欧州

北米

電子・半導体業界、輸送機器業界向けを中心に販売が増加の見込み

01 | 2025年3月期第2四半期（中間期）決算の概要

02 | 2025年3月期の見通し

03 | 中期経営計画の進捗

▼「VISION2030」で目指す当社のあるべき姿 ▼

世界のモノづくりを支えるグローバルニッチトップメーカーへ

実現に向けた3つの要素

ブランド力の強化

市場浸透による拡販

成長分野/得意分野に注力

経営リソースの効果的な活用

先見的な製品開発

顧客ニーズの一步先へ

事業成長に向けた3つの重点施策

1

半導体注力

2

経営基盤強化

3

リソースの最適化

1

半導体注力

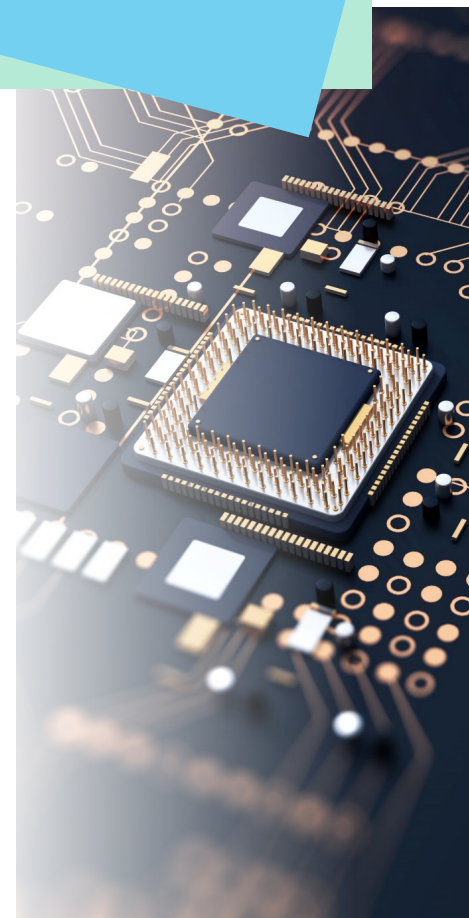
電子半導体セグメントに経営資源を集中させ、
高収益&業界のニッチトップを目指す

▶ 開発・製造

- 脱炭素にも貢献する需要拡大中のパワー半導体用SiC向け工具の開発
- 製造設備導入および工場再編による増産体制の構築
- 生産効率及び原価率の改善

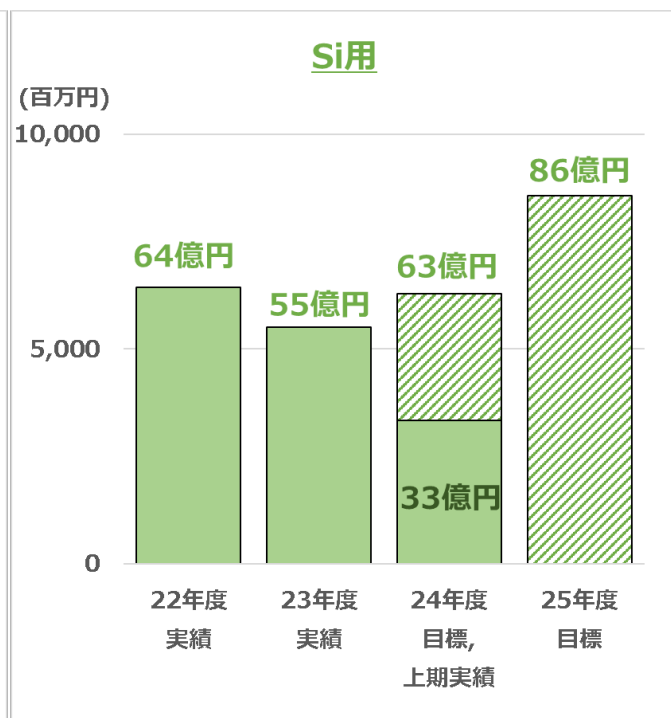
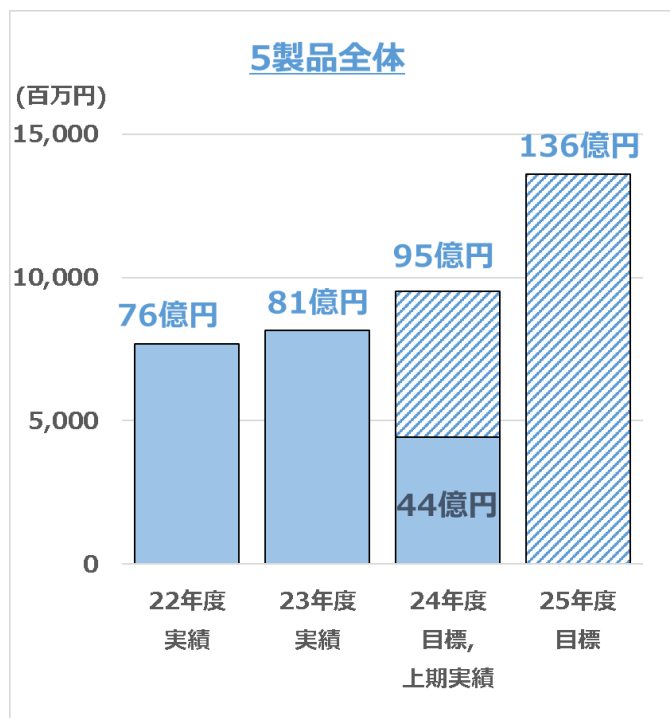
▶ 販売

- 高収益製品の拡販に注力
- 展示会の活用



半導体注力

▶ 注力5製品の売上実績と目標



2

経営基盤強化

- ▶ **ITシステム：「経営数値の見える化」と「業務の効率化」を実現する**
 - 基幹システム刷新 《27年度から運用開始予定》
 - 営業SFA（営業支援システム）の活用
- ▶ **グローバルガバナンス：中長期グループ経営方針に沿った経営の実現**
 - 海外子会社の事業計画に基づいた、組織・人材配置の最適化
- ▶ **ブランディング：高品質で信頼できる旭ブランドのイメージ確立を目指す**
 - コーポレートサイトを刷新《2024年4月リニューアル》
 - ブランドアイデンティティの構築
- ▶ **人材育成：働きがいのある環境づくり**
 - 新人事制度による個々の特性を生かす
 - エンゲージメント調査、360度評価の実施

リソースの最適化

事業領域整理と社内外リソースの最適化

▶ グループ内最適化

- 事業領域の分析と不採算部門の整理
- 生産能力増強（製造設備の導入、工場レイアウトの最適化）

▶ 外部リソースの活用

- 製品の外部調達
- 業務提携（Tyrolit社との相互製品供給の見直し）

3



数値目標

目標の変更なし、中計3年目の目標達成に向けて着実に推進

	2024年度 上期実績	2024年度 通期見込	2025年度 通期目標
連結売上高（百万円）	20,688	42,500	49,000
連結営業利益（百万円）	1,299	3,100	4,900
連結営業利益率（%）	6.3	7.3	10.0
ROE（%）	—	4.2	6.0以上
PBR（倍）	—	—	1.0以上

中期経営計画期間中の資本政策および株主還元

適用期間 2024年3月期～2026年3月期

- 配当性向50%以上
- 総還元性向120%以上（3年平均）

ROE：6%以上 PBR：1倍以上

3カ年創出キャッシュ

160億円～

純利益

減価償却費

政策保有株式の売却

資産の効率化

成長投資：150億円

株主還元：90億円

24年度上期実績

中間配当金
1株につき 15円
配当性向 68.9%

設備投資
25億円

23年度実績

- 総還元性向 156%
- 設備投資 50億円
- 株主還元 33億円



唯一無二
One and Only

世界の変化を先取りし、革新的技術とグローバルな組織力で、当社にしかできない製品・ソリューションを提供し続けます。

永続的な成長
Eternal Growth

モノづくりに携わる全世界のお客様から最も頼られる存在となり、永続的に成長する企業を目指します。

働きがい
Job Satisfaction

仕事のやりがいを個々の成長に結び付けて持ち味を引き出し、全従業員がいきいきと働く企業を目指します。

- ・本資料には、過去の事実以外に今後の業績見通しや計画が記載されていますが、これらの見通しや計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・2023年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しています。なお、連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

